



道の駅「コスモール大樹」を拠点とした自動運転サービスの実証実験について

道の駅「コスモール大樹」（北海道大樹町）を拠点とした全国初の自家用有償旅客運送による自動運転サービスの長期実証実験を5月18日から6月21日まで実施しています。詳しくは報道発表資料をご覧ください。

[報道発表資料](#)

先進モビリティ株式会社 [今回使用]



「路車連携型」技術
GPSと磁気マーカ及びジャイロセンサにより自車位置を特定して、既定のルートを走行

定員：20人
速度※：35 km/h 程度
(最大40 km/h)

十勝川魚つきの森 植樹祭について

5月25日に、豊頃町の民有林内で「十勝川魚つきの森」植樹祭が行われました。森・川・海とつながった地球環境を保全し、より豊かな緑資源を後世に引き継ぐことを目的とした「十勝川魚つきの森推進協議会」の主催で、釧路開発建設部、帯広開発建設部の職員も参加しました。



はたらく車大集合 照明車・道路パトロールカーの展示について

6月15日、16日に十勝キャンプカー&アウトドアFES2019が開催され、帯広競馬場イベントスペースでは、『はたらく車』として、帯広開発建設部の照明車（両日）や道路パトロールカー（15日のみ）を展示しました。訪れた方々は運転席に座ったり、写真を撮ったりしていました。



祝 鹿追地域農業開発事業所 開所50周年



鹿追地域農業開発事業所



鹿追町上空航空写真

鹿追地域農業開発事業所は、令和元年5月28日に開所50周年となりました。その歩みをご紹介します。昭和44年度畑地帯総合土地改良パイロット事業「鹿追地区」を担当して以来、国営農地再編整備事業「中鹿追地区」が平成30年度に完了するまで、11地区の基盤整備を担ってきました。

現在は、土幌町、上土幌町、音更町において、国営かんがい排水事業「土幌西部地区」、「上土幌北地区」及び「富秋土幌川下流地区」の3地区を実施しています。今後とも、事業の早期効果が発現するよう、地域と一緒に整備を進めていきます。

事業名	地区名	工期
畑地帯総合土地改良パイロット事業	鹿追	S43～S58
草地開発事業	西部十勝	S53～S58
直轄明渠排水事業	アネップ	S54～S62
直轄明渠排水事業	新栄	S51～H1
直轄明渠排水事業	下音更	S57～H1
かんがい排水事業	十勝川左岸	S59～H7
農地再編整備事業	新得	H6～H12
直轄明渠排水事業	佐幌	H2～H10
かんがい排水事業	美蔓	H5～H27
国造施設整備事業	鹿追	H16～H20
農地再編整備事業	中鹿追	H21～H30
計	11地区	



土幌西部地区
(第7号明渠排水路完成写真)



上土幌北地区
(上土幌北2号排水路完成写真)



富秋土幌川下流地区
(栄橋排水路完成写真)

クリーン・キャンパス・21ボランティア清掃の活動について

帯広開発建設部では、帯広市のボランティア清掃活動「クリーン・キャンパス・21」に参加しています。

今年は5月18日に、参加団体全体による市内の清掃活動が行われました。約180名の参加者の一員として、班ごとに分かれて、約1時間にわたり、ごみを拾いました。一見、あまりごみが落ちていないように感じるのですが、草のかげや小さなくぼみには、吸い殻や容器・包装用プラスチックなどが目立ちました。

また、帯広開発建設部独自の取り組みとして、5月から11月にかけて昼休みに職員で庁舎周辺と中央公園のごみ拾いを行っています。



[「クリーン・キャンパス・21」の詳細\(帯広市役所HP\)はこちら](#)

第19回クリーンウォークとかちin札内川について

5月11日に愛国大橋を中心とした帯広市側・幕別町側の河川敷一帯の清掃活動が行われました。多くの恵みをもたらしてくれる札内川をきれいにしようという思いのもと、今年は700名あまりが参加しました。帯広開発建設部はこの活動に参加しています。



12年目を迎えるボランティア道路清掃について

4月13日に十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート鹿追地域部会は、美しい景観づくりを行う活動として、地域住民や関係団体と連携して、国道274号及び道道133号音更新得線の計4.2kmの区間をボランティア清掃しており、帯広開発建設部の職員も参加しました。活動団体数17団体、参加人数は約230名、今年拾ったごみの量は約3トンでした。



[Web広報誌に戻る](#)